

展示物名：屋島焼（急須）

制作年：江戸時代後期

出土地：高松城跡

展示物概要：

高松城内の武家屋敷跡から出土した屋島焼の急須です。急須の蓋の裏側には、「屋島」の刻印が認められます。

屋島焼は志度で陶工の修行をしていた林蔵が、文化 2 年（1805）に屋島で窯を開き、「三谷林叟」と名乗り屋島焼を生み出したことに始まります。以後、昭和 18 年（1943）まで 5 代にわたり林叟の名が継承されました。初代林叟は、天保期（1830～1844）に藩の御用焼物師になりました。